

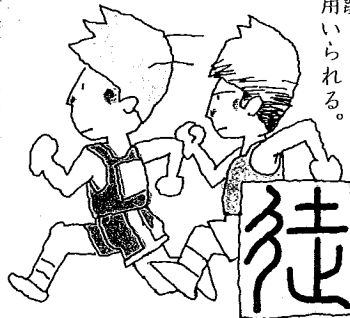
# 徒

おん ト

〔4年〕

## 10画 イ 辵 辵 辵 辵 辵

なりたち 行く意味のイと、足の意味の辵と、土との会意形声字。土の上を足で歩いて行く。ことを表した字。転じて、「下級の人々」。また、車馬がないところから「空(空)しい。ただいたずらに」の意味に用いられる。



▼足で歩く。  
徒歩：車に乗らずに、足で歩くこと。例 徒歩旅行  
徒競走：かけくらべ。かけっこ。  
▼下級の人々。何かに従う者。徒弟：親方の下で仕事を学習する弟子。  
信徒：ある宗教を信じて従う人々。  
学徒：学問に従っている者。学生や学者。  
徒党：良くないことをたくらんで集まった仲間。用例 徒党を組む。  
暴徒：乱暴な行いをする者ども。

▼ただ。いたずらに。  
徒手：手に何も持たないこと。ただ手だけ。例 徒手体操  
徒食：仕事をせず、遊んで暮らすこと。例 無為徒食

# 微

おん ビ

## 13画 イ 彳 彳 彳 彳 彳

なりたち 本字は敬。端の意味の端の変形したまど、棒を持つて打つ意味の女との会意字。棒で打つて先端が「小さくなる」ことを表したものの「小さい・かすか・ひそか・かくれる」の意味がある。



いみじくも(く)

▼小さい。かすか。  
微小：非常に小さいこと。  
微細：非常に細かいこと。  
微力：①力量が小さいこと。②自分の力量をへりくだつていう言葉。用例 微力ながら、お力そえいたします。  
微生物：細菌などの目に見えないほど小さな生き物。  
顕微鏡：目に見えないほど小さな物を見るための道具。  
微笑：かすかな笑み。ほほえみ。また、ほほえむこと。

▼ひそかに。かくれる。  
微行：身分の高い人が、人に知られないよう、密(ひそ)かに外出すること。おしのび。  
▼いやしい。身分が低い。  
微臣：身分の低い家来。  
よみかた 微温湯・微光・微弱・微震・微動・微熱・微風・微妙・微粒子・機微・哀微

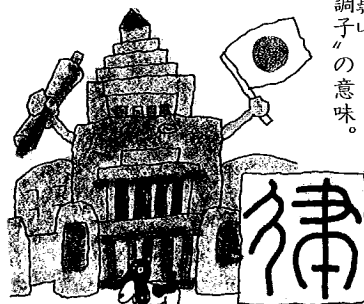
# 律

おん リツ・リチ

〔6年〕

## 9画 イ 彳 彳 彳 彳 彳

なりたち 筆の意味の聿と、行いの意味の彳との会意形声字。行為の基準を筆で書きしるしたものという意味の字。



▼きまり。おきて。  
法律：国が決めた、きまり。規律：団体が秩序を保つための、きまり。  
戒律：仏教で、僧侶(ぼん)が守らなければならない、きまり。不文律：文章化されていない、きまり。誰もが当然として守っているきまり。  
▼正す。きまりを守る。  
律義：①仏教で戒律を守ること。②義理がたいこと。  
自律：自分で決めた規則を守つて気まますを抑えること。  
▼音楽の調子。  
旋律：メロディーの詠語。ふし。用例 美しい旋律。

行為の基準・きまり。また、「正す」意味。転じて、「音楽の調子」の意味。

よみかた 律動・一律・調律  
ミニ知識 律令(りつりょう) 奈良(なら)平安時代の法律。刑罰に関する「律」と、それ以外の「令(りょう)」とから成る。

# 徵

おん チョウ

## 14画 イ 彳 彳 彳 彳 彳

なりたち 旧字体は徵。徵の省略された徵に王を加えた会意形声字。王は、人(官吏)との会意字で、「仕官」の意味。微賤(ひそ)は(身分や地位が低い)の者が認められ、召されて官吏に取り立てられること。「召す・取り立てる」。



いみじくも(く)

▼召す。取り立てる。  
徵用：国家が国民を召し出して、一定の仕事させること。  
徵兵：国家が国民を一定期間軍役にさせること。例 徴兵制  
徴集：①人を呼び集めること。②金や物を取り立てて、集めること。  
徴収：①金を集め、収めること。②国などが税金や罰金を取り立てること。  
徴税：税金を取り立てること。  
▼ほのかなしるし。きざし。  
徴候：物事が起る前ぶれ。きざし。「兆候」とも書く。特徴：他のものと比べて特に違う所。  
象徴：表現しにくいものを具体的なもので表すこと。

# 微徵

よみかた 微温湯・微光・微弱・微震・微動・微熱・微風・微妙・微粒子・機微・哀微